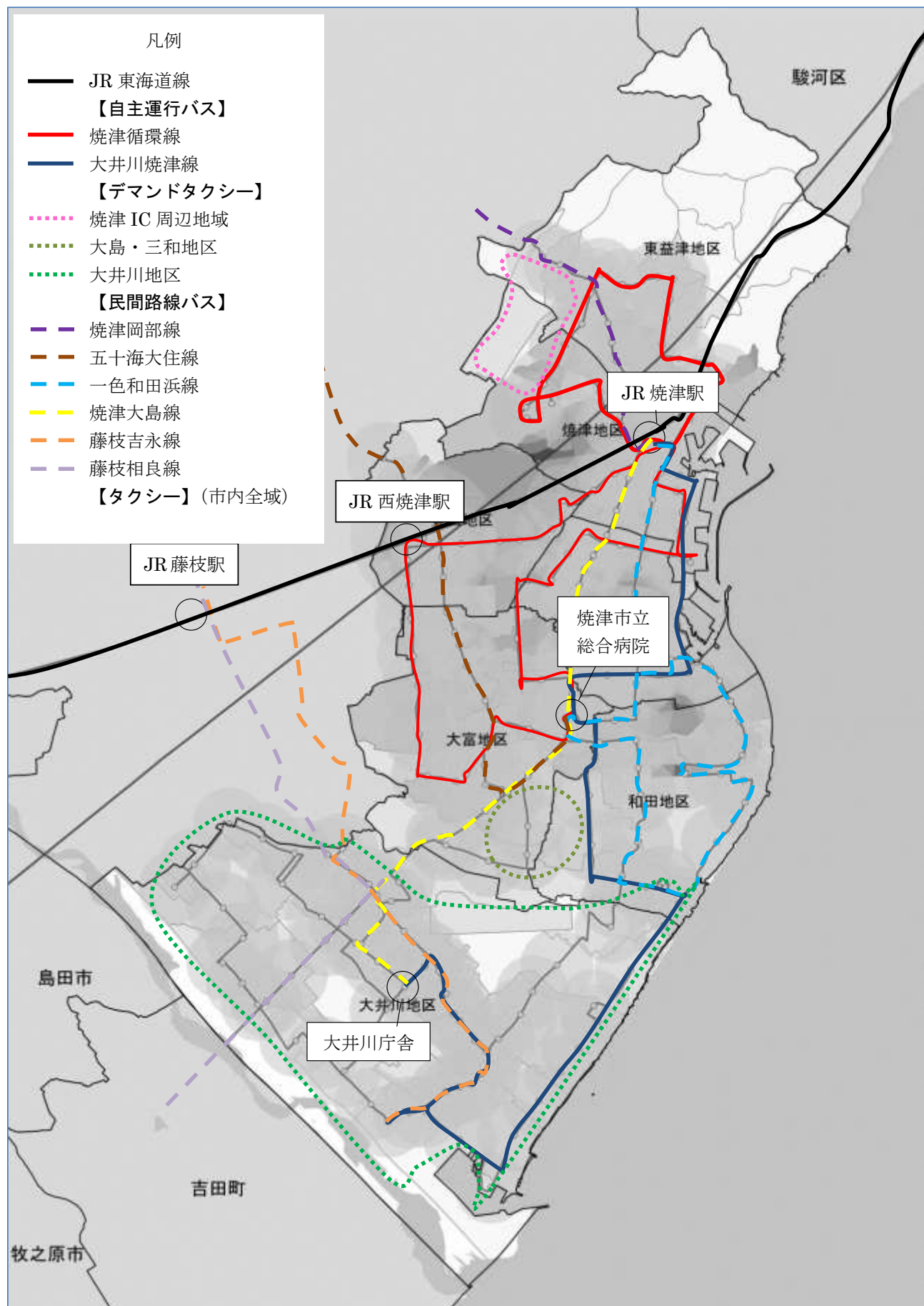


IV 公共交通の現状



1. 公共交通の利用状況

(1) 鉄道（JR東海道本線）

(ア) 運行頻度

焼津駅、西焼津駅ともに普通電車のみが停車しており、運行頻度は、静岡・沼津方面が平日 92 本、休日 91 本、浜松・豊橋方面が平日 95 本、休日 94 本となっています。

表－鉄道運行頻度（令和 5 年（2023 年）6 月時点）

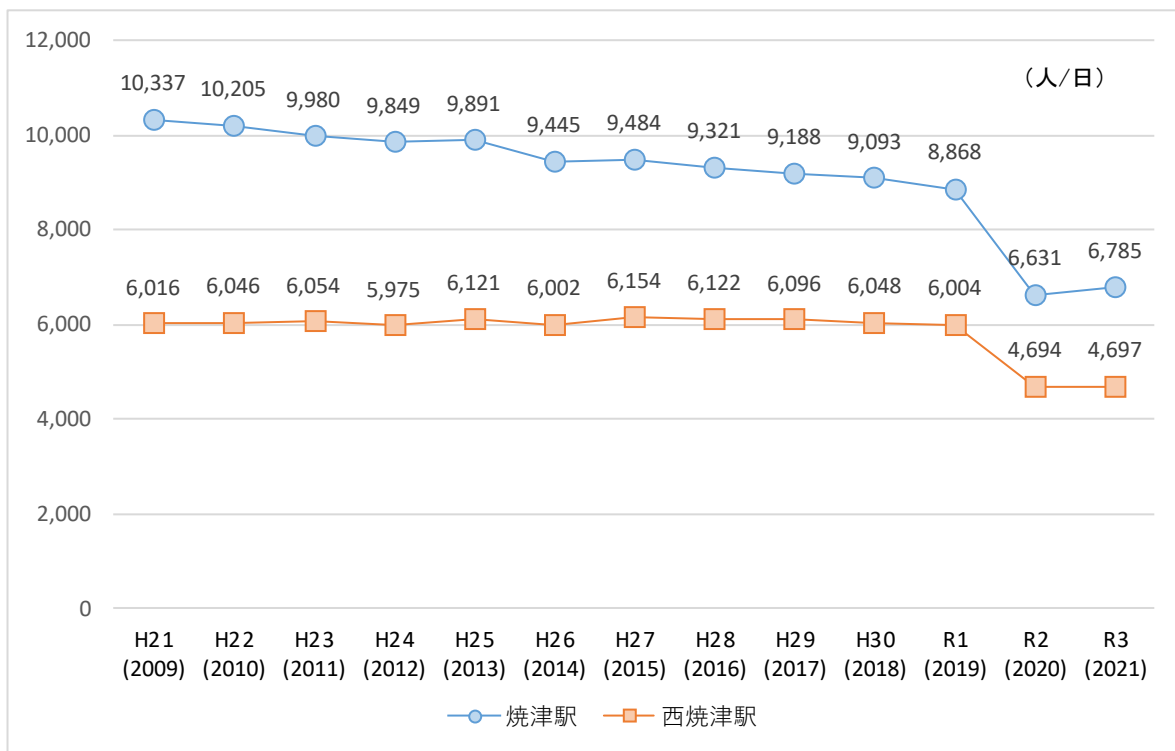
（資料：JR 東海 WEB サイト）

（本/日）

	静岡・沼津方面		浜松・豊橋方面	
	平日	休日	平日	休日
焼津駅	92	91	95	94
西焼津駅	92	91	95	94

(イ) 利用者数の推移

令和 2 年（2020 年）の日平均乗車人員は、焼津駅が 6,631 人/日、西焼津駅が 4,694 人/日です。利用者数をみると、焼津駅は減少傾向、西焼津駅は概ね横ばいで推移しています。令和 2 年（2020 年）はコロナ禍で大きく減少しましたが、令和 3 年（2021 年）は回復傾向がみられました。



図－日平均乗車人員の推移（出典：令和4年度版統計やいづ）

(2) 民間路線バス

市内6路線、うち4路線が本市と他市町を結ぶ広域的な路線です。焼津大島線は令和4年度より、焼津駅から大井川庁舎まで運行しています。民間路線バスは市内の結節点や主要施設を結んでおり、自家用車を持たない市民の主要な移動手段となっています。

コロナ禍前の令和元年度の利用者数まで回復していない中、運転士の待遇改善のための人件費のベースアップ、燃料費の高騰化などにより経費が増加している状況です。

■民間路線バスの概要（令和6年3月現在）

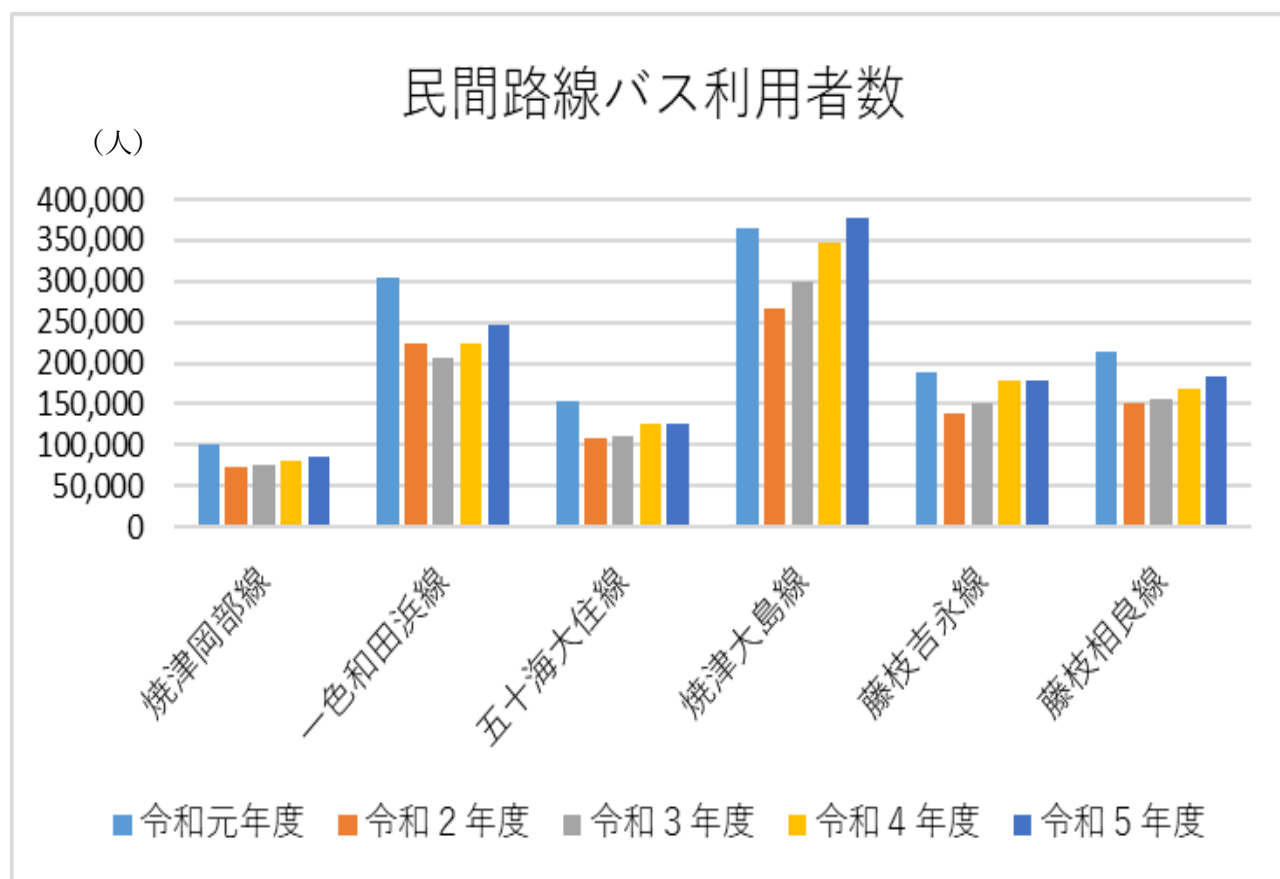
	路線の概要
焼津岡部線	焼津駅と東益津地区、藤枝市岡部地区を結ぶ路線。朝夕は通勤通学、日中は通院や買い物などに利用されている。 平日:21 往復／土日祝:12.5 往復
一色和田浜線	焼津駅から市立病院、一色地区、和田浜地区を回り、焼津駅に循環する路線。運行距離が長く広いエリアをカバーし、利用人数も多い。 平日:32 便／土日祝:28 往復
五十海大住線	藤枝市清里から西焼津駅を經由し、静岡福祉大学や市立総合病院まで結節点を結ぶ路線。通学と通院の利用が多い。 平日:15.5 往復／土日祝:9 往復
焼津大島線	焼津駅から市立総合病院、大井川庁舎まで結節点を結ぶ主要幹線であり、朝夕は通勤通学、日中は通院や買い物などに利用され利用人数が多い。 平日:35 往復／土日祝:25 往復
藤枝吉永線	大井川地区と藤枝駅を結ぶ幹線であり、大井川地区内を広く運行しているため、藤枝駅への通勤通学、通院などに利用されている。 平日:12 往復／土日祝:9 往復
藤枝相良線	大井川地区と藤枝駅を結び、通勤通学、通院などに利用する。広域的に市町を運行する幹線であり、路線維持が必要。 平日:12 往復／土日祝:10 往復

■民間路線バス利用人数

(単位：人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和元年度比
焼津岡部線	101,290	73,994	74,713	80,040	85,583	84.5%
一色和田浜線	304,883	222,763	205,452	224,518	246,488	80.8%
五十海大住線	154,475	108,700	110,312	124,775	126,345	81.8%
焼津大島線	365,420	267,266	299,045	346,247	377,246	103.2%
藤枝吉永線	188,966	137,540	151,070	178,691	179,739	95.1%
藤枝相良線	212,724	151,706	157,097	169,042	183,128	86.1%
合計	1,327,758	961,969	997,689	1,123,313	1,198,529	90.3%

(しずてつジャストライン(株)報告値)



(3) 自主運行バス

自主運行バスは、市内各地と結節点を結んでおり、路線バスが運行していないエリアにおける通勤、通院、買い物など、市民生活のための移動手段を確保しています。

令和4年度に交通網を再編し、大井川西部循環線からデマンドタクシーへの移行を行い、現在2路線を運行しています。焼津循環線は、焼津駅を中心に北部と南部を8の字に循環し、年間で10万人近い利用者数となっています。大井川焼津線は、焼津駅と大井川地区を結ぶ路線で、令和5年8月に経路を変更し、ダイヤ改正を行っています。

<h4>焼津循環線</h4> <p>(ゆりかもめ・さつき)</p>
焼津地区の北部と南部を 8の字に循環する路線
ルート JR 焼津駅～焼津総合福祉会館～焼津市立総合病院～JR 西焼津駅～アクアスやいづ
便数 平日：20便 土日祝：16便

<h4>大井川焼津線</h4> <p>(駅行き・庁舎行き)</p>
海岸線を運行し、焼津駅と大井川庁舎を結ぶ路線
ルート JR 焼津駅～焼津駅～信香院・焼津市立総合病院～宮島・大井川港～大井川庁舎
便数 平日：6往復 土日祝：4往復

焼津市自主運行バス路線図

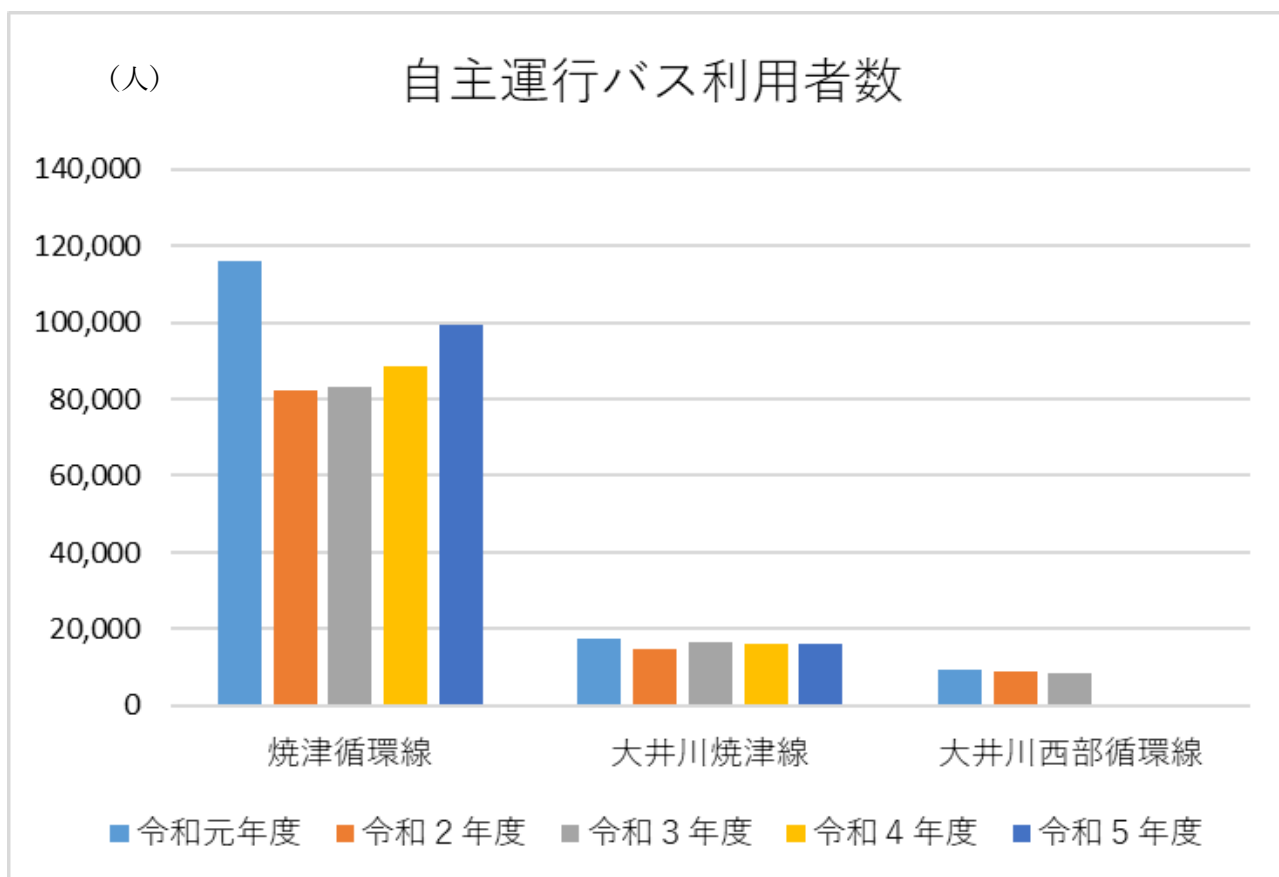


■ 自主運行バス利用人数

(単位：人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和元年度比
焼津循環線	116,020	82,345	83,278	88,344	99,508	85.8%
大井川焼津線	17,484	14,963	16,606	16,148	16,229	92.8%
大井川西部循環線	9,607	8,808	8,356	-	-	-
合計	143,111	106,116	108,240	104,492	115,737	86.7%

(しずてつジャストライン(株)報告値)



※大井川西部循環線は令和4年度に廃止(大井川地区デマンドタクシーに移行)

(4) デマンドタクシー

バスが運行していない地域では、予約に応じて、必要な乗降場所だけ運行するデマンド型乗合タクシーを運行しています。焼津インターチェンジ周辺地域では焼津駅への利用が多く、大島三和地区では市立総合病院への通院に利用されており、大井川地区では、地区全体をカバーして運行しています。



焼津インターチェンジ 周辺地域

令和元年7月試験運行
令和3年10月本格運行
9往復（月～土）



大島三和地区

令和4年6月試験運行
令和6年4月本格運行
2往復（平日のみ）



大井川地区（くるりん号）

令和4年6月試験運行
令和6年4月本格運行
平日：9往復 土曜：4.5往復



■デマンドタクシー利用人数

(単位：人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
焼津インターチェンジ 周辺地域	204	240	348	670	520
大島・三和地区				336	255
大井川地区				1,464	2,609

(5) タクシー（民間）

市内には、以下の4社が営業しています。

■市内事業者 車両保有台数

	特大	大型	普通	福祉	UD
(株)アンビ・ア	2	—	51	—	7
焼津港タクシー(株)	—	—	20	—	2
(株)M.A通商	—	—	10	—	—
(有)小泉タクシー	2	—	7	—	3

(出典：静岡県タクシー協会HP)

※令和6年4月1日現在

※市外の営業所分を除く

※UD：ユニバーサルデザインタクシー

(6) その他

交通分担率

本市の交通分担率についてみると、自動車が68.2%で最も多く、次いで、徒歩(14.6%)、自転車(10.2%)の順となっています。

自動車については、近隣市と比較しても高い水準となっています。



図－交通手段分担率

(資料：第4回静岡中部都市圏
パーソントリップ調査)

2. 焼津市地域公共交通網形成計画のフォローアップ

(1) 施策の実施状況

焼津市地域公共交通網形成計画の基本方針に基づいた目標を達成するために、行った事業の実施状況について、更新する計画策定に向け、下記のとおり検証を行いました。

検証手順	検証の方法
施策の実施状況の整理	◎：完了 ○：実施中 △：検討・研究中 ×：未実施

【方針1】まちづくりと連携した幹線軸と支線による公共交通ネットワークの形成

施策	実施状況	実施内容・その他
(1-1) 焼津駅～市立病院～大井川庁舎間の幹線軸の強化	◎	・しずてつジャストライン(株)が「焼津大島線」を大井川庁舎まで延伸して運行し、市内に幹線軸を形成。
(1-2) 地域間幹線の維持と広域的な移動ニーズに対応した運行内容の見直し	○	・国や県、関係市町と連携を図り、民間事業者に対し、補助金（地域間幹線系統確保維持費補助金）を交付。 ・上記に含まれない路線に対しても、補助金（バス路線維持特別対策事業費補助金）を交付。
(1-3) 地域間幹線におけるバリアフリー対応車両への更新	○	・しずてつジャストライン(株)が車いす対応車両で地域間幹線を運行中。
(1-4) 利用状況に応じた機能的な支線の運行	○	・焼津循環線を運行 ・到着時間を短縮するダイヤ改正を実施し、大井川焼津線を運行。 ・デマンド型乗合タクシー3路線（焼津IC周辺地域、大島・三和地区、大井川地区）を運行。

【方針2】 結節点における乗り継ぎ利便性や結節機能の向上

施策	実施状況	実施内容・その他
(2-1) 幹線軸の強化に合わせた結節点における乗り換えし易いダイヤの見直し	○	・大井川庁舎で「焼津大島線」に乗り換えしやすいよう、デマンドタクシーのダイヤを作成、大井川焼津線の見直し。
(2-2) 結節点における公共交通の利用に関する案内表示の強化と待合環境の充実	○	・しずてつジャストライン(株)が、JR焼津駅南口に4か国語対応の表示器を設置。
(2-3) 大井川庁舎における結節機能の強化	○	・大井川庁舎に、利用者が駐車できる駐輪場を拡充し、案内看板を設置。 ・待合のためのベンチを増設。 ・大井川庁舎内に、運行事業者の事務所及びバス車両の駐車場を設置。

【方針3】 利用者需要や地域ニーズに的確に対応した公共交通の整備

施策	実施状況	実施内容・その他
(3-1) 地域ニーズや利用状況を踏まえたデマンドタクシーの運行	○	・R元年6月より焼津IC周辺地域で試験運行を開始し、R3年10月より本格運行へ移行。 ・大井川西部循環線の代替として、R4年4月より大井川地区で「くるりん号」を試験運行開始。R4年6月より大島・三和地区で試験運行開始。
(3-2) 民間路線バスの運行内容の見直し	○	・コロナ禍において、利用需要に合わせた運行頻度の調整を実施した。
(3-3) バスロケーションシステムの導入	○	・しずてつジャストライン(株)がバスロケーションシステムを導入。
(3-4) 大型商業施設へのアクセス強化	×	・民間施設敷地内での運行の安全性や、ダイヤへの影響等により実施困難。

【方針4】 交通事業者、地域住民、行政の連携による公共交通の利用促進

施策	実施状況	実施内容・その他
(4-1) バス利用の利便性向上に向けた市内企業・医院等への協力要請	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主運行バス車両後部への有料広告について、令和3年度より掲載協力を得ている。 ・ デマンドタクシーの乗降場所として、医療施設や市内企業に停留所を設置している。
(4-2) ICTを活用した検索サイト等の利用方法周知	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運行に関する情報のオープンデータ化を行い、自主運行バスの時刻・経路検索が可能である。また、市LINEからしずてつジャストライン株の検索を利用可能とした。
(4-3) 公共交通利用の少ない地区への利用啓発等の実施	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大井川地区を中心に、地域の会合におけるデマンドタクシーの乗り方講座を実施。
(4-4) バス総合マップの作成 ※ダイヤ改正など年1回程度作成	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主運行バスのダイヤと、市内バス路線の経路を記載したバスマップを毎年度作成し、転入者や観光案内所等で配布。
(4-5) バス乗車体験イベントの実施	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ バスの乗車機会を提供する催しとして、自主運行バスを利用したミニツアーの実施や、運行する車内に市内小学生のバスの絵を展示した絵画展を開催。 ・ デマンドタクシーの体験乗車会を実施。
(4-6) 「マイマップ・時刻表」の提供	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で利用できるバス停を抜粋した時刻表を作成し、公民館等で配布。 ・ よく使う乗降場所を記入し持ち運びができる、名刺型のデマンドタクシーの乗り案内を作成・配布。
(4-7) 観光振興と連携した利用促進事業の実施	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 史跡や水産業の工場見学、地域の自然やイベントを鑑賞するウォーキング事業を開催し、公共交通の利用促進とともに、関係団体と連携して地域の魅力を発信し、観光振興を図っている。

(2) 目標の達成状況

焼津市地域公共交通網形成計画では指標と目標を立て、これまで取組を行ってきましたが、その達成状況は以下のとおりです。

ア 計画に関する目標

①バスの年間利用回数

※自主運行バス（デマンドタクシーを含む）及び民間路線バスの年間利用者数を人口で割った値。

- 目標値 10.8回／人以上（維持）
- 実績 令和5年度末 9.7回／人・・・目標未達成

（単位：回／人）

目標値	H30	R1	R2	R3	R4	R5
10.8	10.6	10.5	7.7	8.1	9.0	9.7

・コロナ禍の外出抑制の影響により、利用者数は約3割減少しましたが、現在は徐々に回復している状況です。

②人口カバー率

※自主運行バス及び民間路線バスの停留所から半径500メートル圏内の人口、直近の国勢調査人口で割った値。デマンドタクシーの停留所がカバーする分も加えた。

- 目標値 93%以上（維持）
- 実績 令和5年度末時点 95%・・・目標達成

・焼津IC周辺地域デマンドタクシーを運行することで、バス路線が無かった地域をカバーすることができました。
 ・大井川西部循環線から大井川地区デマンドタクシーに移行し、従来の停留所よりも多くの乗降場所を設置することで、より多くの地域をカバーすることができました。

③交通結節点におけるバス利用者数

※毎年6月の利用者数で評価。

- 目標値 以下のとおり（増加）
- 実績 令和5年度末時点 以下のとおり・・・目標未達成

（単位：人／日）

目標値	H30	R1	R2	R3	R4	R5
焼津駅	1,942	1,807	1,730	1,266	1,342	1,455
西焼津駅	355	402	388	281	289	316
市立病院	259	334	329	252	260	241
大井川庁舎	19	13	14	14	18	21

・コロナ禍によるバス利用者数の減少を受けて、交通結節点における利用者数も減少しています。
 ・大井川地区の再編により「焼津大島線」を延伸したことから、大井川庁舎のバス利用者数は目標値を超えている状況です。

④バス路線維持に係る市民一人当たりの年間負担額

※自主運行バス運行経費及び民間路線バス補助額を人口で割った値。

- 目標値 900 円以内（維持）
- 実績 令和 5 年度末時点 1,484 円・・・目標未達成

目標値	H30	R1	R2	R3	R4	R5
900 円	963 円	1,333 円	1,376 円	1,472 円	1,368 円	1,484 円

・人件費や燃料費の高騰により運行経費は増加していること、バス利用者数がコロナ禍前の水準まで回復していないことから、バス路線維持に係る負担額は増加しています。

⑤地域による検討組織の数

※自主運行バス、デマンドタクシーの運行などに関する地域による検討組織の数

- 目標値 3 箇所（増加）
- 実績 令和 5 年度末時点 3 箇所・・・目標達成

組織名	役割
焼津市地域公共交通会議	交通施策全般を協議
焼津市地域公共交通大井川分科会	大井川地区の再編計画について協議
地域の交通手段推進協議会	焼津 I C 周辺地域の公共交通について協議

・地域に適した公共交通を目指すため、新たな取組を検討する検討組織として、平成 30 年に地域の交通手段推進協議会、令和 2 年に焼津市地域公共交通大井川分科会を設置しています。

⑥協力企業・医院等の数

※有料広告の掲載枠、サイクル&ライドの協力事業者

- 目標値 5 社（増加）
- 実績 令和 5 年度末時点 1 社（2 枠）・・・目標未達成

・計画期間中に車内放送の協力企業が撤退しましたが、車両後部への有料広告は新規に協力を得ており、現在は 2 枠の掲載を行っています。
 ・達成状況には含まれませんが、デマンドタクシーの停留所の新設や標柱の設置について、13 の企業・医院に協力を得ることができました。

イ 自主運行バス全体の目標

①沿線人口当たりの年間利用者数

※年間利用者数を直近の国勢調査の沿線人口で割った値

●目標値 1.2人以上（維持）

●実績 令和5年度末時点 1.2人・・・目標達成

・バスの利用者数はコロナ過で最大3割程度利用者数が減少しましたが、徐々に回復傾向にあり、令和5年度末で目標値の達成となりました。

②収支率

※運賃収入及び有料広告収入を運行委託費で割った値

●目標値 21.0%以上（維持）

●実績 令和5年度末時点 13.9%・・・目標未達成

目標値	H30	R1	R2	R3	R4	R5
21.0%	19.8%	13.9%	10.2%	9.7%	13.1%	13.9%

※令和3年度までは大井川西部循環線を含む

・運行事業者の車庫の移転に伴う回送距離の増加や、運転手不足対策による人件費の増加、燃料費の上昇、コロナ禍による運賃収入の減少など、計画期間中に大きく状況が変化したため、目標収支率を下回っています。
・令和4年度は、大井川地区の再編を実施し運行委託費を縮減したことで、前年度に比べて大きく増加しました。

③利用者満足度

※市が実施する市民意識調査において、自主運行バス利用者で市内のバス路線が便利だと答えた方の割合。令和4年度からは調査内容が変更となった。

●目標値 44.0%以上（上昇）

●実績 令和3年度末時点 47.0%・・・目標達成

・自主運行バスを利用していると回答した方を対象としており、市内のバス路線運行内容に対して理解を得られている結果となっています。

ウ 自主運行バス路線別の目標

沿線人口当たりの年間利用者数及び収支率

※年間利用者数を直近の国勢調査の沿線人口で割った値

●目標値 以下のとおり（焼津循環線は維持、大井川焼津線は増加）

●実績 以下のとおり・・・目標未達成

路線名	沿線人口当たりの年間利用者数				収支率			
	目標値	R3	R4	R5	目標値	R3	R4	R5
焼津循環線	1.7人	1.3人	1.4人	1.5人	33.0%	15.0%	15.0%	16.1%
大井川焼津線	1.0人	0.5人	0.5人	0.5人	15.2%	7.9%	8.1%	7.8%
大井川西部循環線	1.0人	0.4人	—	—	12.5%	2.9%	—	—

・コロナ禍による利用者数及び運賃収入の減少や、運行経費の増加等により、いずれの目標も未達成となっています。

エ デマンドタクシーの目標

運行に関する基本的な基準として、乗合率 1.4 人以上、収支率 27%以上、利用者満足度 44%以上を目標としていましたが、計画期間中に3地区においてデマンドタクシーを導入し、地区ごとに基準を設けて本格運行について判断評価を行ってきたため、その内容について記載します。

焼津 I C 周辺地域				
基準		目標値	R4	R5
乗合率		1.1人以上	1.09人	1.06人
収支率		20%以上	21.5%	16.7%
費用効率	市負担額(1運行)	1,400円以内	1,286円	1,759円
地域への必要性	高齢者登録数	30%以上	38.8%	38.8%
利用者満足度	利用者アンケート	44%以上	84%	—
地域の主体性	協議会開催(通算)	4回/年	4.6回/年	4回/年

大井川地区				
基準		目標値	R5.9月末 ※判断評価時	R5
乗合率		1.1人以上	1.87人	1.89人
利用者数		2,000人/年	1,995人	2,609人
地域への必要性	高齢者登録数	15%以上	9.6%	10.3%
利用者満足度	利用者アンケート	44%以上	63.2%	63.2%
地域の主体性	協議会開催(通算)	3回/年	3.3回/年	3.3回/年

大島・三和地区				
基準		目標値	R5.9月末 ※判断評価時	R5
乗合率		1.1人以上	1.38人	1.21人
収支率		20%以上	21.8%	17.1%
費用効率	市負担額(1運行)	1,400円以内	1,071円	1,457円
地域への必要性	高齢者登録数	30%以上	4.7%	5.3%
利用者満足度	利用者アンケート	44%以上	72.5%	72.5%

- ・3地区とも判断評価基準を達成したため、本格運行が決定しました。
- ・焼津IC周辺地域では乗合率が低下してきています。
- ・大井川地区及び大島・三和地区では、登録者数を増やす必要があります。